

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県名【滋賀県】 学校名【彦根市立河瀬小学校】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	5校時：河瀬小学校 全児童 513名 6校時：5, 6年児童 158名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 総合的な学習 および 道徳、体育 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	・夢を叶えた岩崎悠人選手の話聞いて、今の自分を振り返り、これからの自分について考える。 ・プロスポーツ選手とともに運動する経験を通して、スポーツに対する興味・関心の向上とスポーツを楽しむ心の育成を図る。
5 取組内容	<当日までの取り組み> ・児童会活動の中で、体育委員会が全校児童に向けて、岩崎選手の紹介や当日の内容を知らせる壁新聞を作成した。 ・各学級で1枚ずつ岩崎選手へのメッセージゼッケンを作り、縫い合わせて1枚のフラッグを作成した。 <当日> ■第1部 講演（対象：全校児童513名） ・ステージ前でリフティングなど、技の披露 ・講演「夢に向かってチャレンジ」 ・体育委員会からの質問タイム ・児童代表からお礼の言葉 □児童の感想 ○私は岩崎選手の話聞いて「途中であきらめそうになったときでも、最後まであきらめずに、そのことをやりとげる」ということがビシッときました。算数の難しい問題を解くときとか、体育の苦手な種目の時とかに、この言葉が役に立つんじゃないかなと思



	います。 ○私は岩崎選手がすごいと思います。なぜなら、まだ20歳なのに礼儀正しくて、しっかりしていて、さすがプロだなと思います。私の将来の夢はサッカー選手じゃないけど、岩崎悠人選手のような人になりたいです。 ■第2部 ふれあい体験（対象：5，6年生児童158名）  ・岩崎選手と一緒にアップ ・クラスごとにショートゲーム ・6年生からお礼の言葉 ・学校長より謝辞 □児童の感想 ○岩崎選手と一緒にサッカーをして、僕の前を歩いていったとき、えげつないほどの風が来てとてもびっくりしました。 ○ミニゲームでは、ボールには触れなかったけど、プロの選手と一緒に対決して、足の速さとかも実感できて、プロ選手ってすごいなと思いました。 
6 主な成果	・本校では、本事業をキャリア教育の一環としてもとらえており、子どもたちからの夢を叶え、現在も更に高い夢を目指して努力を重ねておられる岩崎選手の話の直に聞け、その生き方に対してあこがれの意識をもてたことに大きな値打ちがあった。 ・児童の感想にもあるように、夢をもつこととともに、夢を叶えるために必要なことについて教えていただき、子どもたちにとって大きな学びになった。 ・一流アスリートと直接触れ合い、共にスポーツを楽しむ体験を通して、スポーツの楽しさや心地よさを実感することができた。また将来に向けてスポーツに親しんでいきたいという意欲にもつながった。
7 実践において工夫した点 （事業の特色）	・児童会活動を活用して、子どもたちの出番を増やした。 ・各学級において岩崎選手へのメッセージ入りゼッケン1枚を作り、すべてを縫い合わせてフラッグを作成してプレゼントしたことで、全校児童の岩崎選手への思いが高まった。
8 主な課題等	・日程調整が難航したため、来校日の決定が遅れ、準備のための時間が十分に取れなかった。
9 来年度以降の実施予定	・今後もこのような機会があれば、是非様々な分野のアスリートに来校いただき、子どもたちにメッセージを贈っていただきたいと願っています。